

おくすりコラム



認知症のお薬について



認知症とは、認識したり、記憶したり、判断したりする力が障害を受け、社会生活に支障をきたす状態のことをいいます。この状態を引き起こす原因には、さまざまなものがあります。その一つに「アルツハイマー型認知症」があります。認知症の約60%が「アルツハイマー型認知症」とわれています。

成 分	ドネペジル	ガランタミン	リバスチグミン	メマンチン
商 品 名	アリセプト等	レミニール等	リバスタッチ等	メマリー等
剤 型	錠・口腔内崩壊錠 細粒・ゼリー・ ドライシロップ	錠・口腔内崩壊錠 内服液	貼付剤	錠・口腔内崩壊錠
適応疾患	アルツハイマー型 レビー小体型	アルツハイマー型	アルツハイマー型	アルツハイマー型
用 法	1日1回	1日2回	1日1回	1日1回
副 作 用	胃腸障害（悪心・嘔吐など） 心臓障害（不整脈など）		貼付部位反応 (かゆみ・発赤など)	めまい・頭痛・傾眠

上記のお薬は、認知症を治す薬ではありません。進行を少し遅くしてくれる薬です。

当院では「もの忘れ外来」を毎週水曜日に行っています。

【非薬物治療】薬物を使わずに、普段の生活の体験を通じて、認知症の改善を目指す治療もあります。
(薬剤科長：佐藤 ゆかり)

編集後記

今年の冬は、いつもより明らかに寒さが感じられます。雪が積もることが多いのはもちろんですが、朝は何ともなかったのに、日中雪が降って積もり、夕方には道路がすっかり凍っている—ということが、何回もありました。寒さで体調を崩したり、道路で転倒や滑ったりすることがないよう、意識して日々を過ごしています。

当院地域医療連携室ですが、社会福祉士3名体制のところ、現在2名が「産休・育休」に入っており、昨年12月16日から1名で業務を行っております。皆様方にはご不便、ご迷惑をおかけすることがあるかと存じますが、精一杯対応させていただきますので、今後とも何卒よろしくお願い致します。
(地域医療連携室：佐藤 誠之)

仙台東脳神経外科病院

〒983-0821

宮城県仙台市宮城野区岩切1丁目12番1号

Tel：022-255-7117（代表） Fax：022-255-7760

【関連施設】

仙台リハビリテーション病院

〒981-3341

宮城県富谷市成田1丁目3番1号

Tel：022-351-8118（代表） Fax：022-351-8126

医療法人社団 脳健会

仙台東脳外だより

編集：仙台東脳神経外科病院 地域医療連携室 / 発行：2022年2月

VOL.12

2022.冬

ご自由にお持ちください

卒後50余年を振り返って

私は昭和19年1月生まれです。小学1年生の時に、疫痢で死にそうになったそうです。意識は昏睡状態で肛門は開いたままだったとか。当時、伝染病専門病院（仙台市立榴ヶ岡病院：昭和55年廃止）に勤務していた父も半ば諦めかけるほどでしたが、母が「少しでも助かる望みがあるなら、何でも試して!」と、父と担当小児科医（命の恩人：Dr森川）に頼んだそうです。そうして、馬に使うような太く大きな注射器で、リンゲル液を大腿部に何度も皮下注したそうです（当時は輸液も限られており、点滴の技術も普及していなかったそう）。私の両大腿には、今でもその注射針の痕跡が散在しています。その後は、疫痢で亡くなる児童が激減したと言います。

物心ついてからは、暇さえあれば昆虫採集や近くの池で「ゲンゴロウやガムシなどの水生昆虫、雑魚取り」に夢中になっていました。高校2年生までは、同じ連坊小学校を卒業の東北大学理学部・加藤陸奥雄教授に憧れ、理学部・生物学科に進むことを考えていました。しかし、父に「同じ生物学を勉強するなら、一番高等な人間の生物学を選んだら? それも基礎医学が重要」と説かれ、東北大学医学部に進みました。卒業後は父の意見に沿って、当時長町にあった脳疾患研究施設・神経生理学部門の大学院に進みました（兄は病理学専攻）。大学院修了後は神経内科に入局して22年、その後国立病院機構で12年を過ごしました。研究面では、主に自律神経系に興味を持って、現在も細々と続けております。

名誉院長（脳神経内科）

日本神経学会 専門医

日本内科学会 認定医

さいとう ひろし

齋藤 博



小生が当院（脳健会・仙台東脳神経外科病院）に勤務して16年が過ぎました。この間を振り返りますと、病院での診療体制は大きく変わりました。以前は医局と看護部との関係が主でしたが、徐々に多職種との連携がより重視されるようになりました。リハビリテーション部門、医療相談部門MSWや臨床工学技士等の配置が促進され、診療報酬体系も変わってきました。

当院のように神経系疾患の専門病院では、歩行障害だけではなく、構音障害・嚥下障害の問題がADL（日常生活動作）並びに予後・余命に深く関係するため、リハビリテーションを必要とする患者さんが大多数を占め、その内容も多岐にわたっております。そのため早期からのリハビリを当院で開始し、より長期のリハビリを要する患者さんは同法人・関連病院の仙台リハビリテーション病院や周辺の回復期病院にお願いしております。今後は院内の連携、各部門の人材育成にいつそう努めるとともに、地域の病院間連携と病診連携の強化が課題でしょう。
(次ページへつづく)

(前ページよりつづき)

この2年間、ほぼ全ての病院ではコロナ禍のため入院患者さんに対する面会にご遠慮いただく状態が続き、出来てもPCやタブレット端末などを介したリモート面会程度となっています。現在、一般的に感染症で亡くなる人々の主因は肺炎とウイルス感染で、未知のウイルス感染の流行はこれからも起こり得ることでしょう。地球温暖化との関連を憂慮する意見もあります。いずれにしても、これらは国の主導で危機管理を図るべき問題と考えます。予算計上を含め、各県に拠点病院を設置し、感染症専門医師や看護師等の人材育成、定期的な研修会を開き、普段は一般診療を担い、一旦感染症流行の兆しが出た場合は迅速な対応ができるように備えることが国の責務です。地震や津波などの災害に対する危機管理と同様です。

今は、以前のように誰もが気兼ねなく病院においでいただき、入院患者さんと面会できる状態が一日も早く戻るよう祈るばかりです。

部署紹介

医事課



医事課は病院内の医療事務全般を担当している部署となり、当院では現在7名のスタッフで対応しております。

業務内容としては、大きく分けて外来・入院患者さんの受付業務と、医療費等の請求業務です。

受付では、外来・入院患者さんの保険証確認、窓口での会計、各種文書等の受付などを行っています。高額療養費、限度額認定証等の医療費一部負担金についての問い合わせも多く、スタッフ一人一人が適切な対応ができるよう心がけております。

請求業務は、レセプト（診療報酬明細書）の作成です。病院の収入源となるため、毎月のレセプトチェックは欠かせません。レセプトを作成、提出しても審査機関より査定や返戻を受けることもあるため、その内容について見直しや対策、再請求の検討も行っております。

力が及ばないところもあると思いますが、今後も適切な請求業務ができるよう、また患者さんからお声がけしやすい受付となるよう、より一層努力してまいりたいと思います。

(医事課 主任：木村 結子)

栄養 ひとくちメモ

肥満と判定されたら 生活習慣を見直しましょう

肥満とは脂質組織が過剰に蓄積した状態で、BMI（体格指数）が25以上とされています。肥満をおこすと高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病になりやすく、動脈硬化から脳卒中などの重篤な病気へとつながります。肥満を解消するためには、食事療法と運動療法を組み合わせ、体脂肪を減らしていくことが重要です。肥満と判定された場合は、現在の体重から3～5%の減量が目標になります。体脂肪1kgは約7000kcalに相当し、1か月に1kg減量するためには1日あたり230kcal減らすことが必要です。

○日常生活の注意点

1. ゆっくりよくかんで食べましょう
2. 間食や「ながら食い」はできるだけ控えましょう
3. 飲み物は水やお茶などエネルギーのないものにしましょう
4. 目につくところに食べ物を置かないようにしましょう
5. 外食や市販食品は栄養成分を確認しましょう
6. 活動量を増やしましょう

*食品のエネルギーと、消費に要する運動量

100kcalのエネルギーを消費するには、体重60kgの場合、普通歩行が約35分間必要です。



◆きのこことツナのマリネ◆

材料（1人分）
しめじ 20g
しいたけ 10g
エリンギ 10g
玉ねぎ 1/8玉（20g）
ツナ 10g
パプリカ 5g
イタリアンドレッシング6g

栄養量（1人分）
エネルギー65kcal/蛋白質3.1g/
脂質4.2g/塩分0.5g

きのこは低エネルギーで繊維も多く、たっぷり使いたい食材です。また、きのこ類には食物繊維の一種であるβ-グルカンが含まれており、免疫機能を高める作用があります。

- 🍳 作り方
- ① しめじは軸をとり、房をバラします。
 - ② しいたけとエリンギは2mmくらい、玉ねぎは5mmくらいのスライスにします。
 - ③ パプリカは2mmくらいの細切りにします。
 - ④ きのこと玉ねぎ、パプリカをゆでて冷まします。
 - ⑤ ④で茹でたものをツナと合わせ、ドレッシングで和えます。



当院では、管理栄養士による栄養指導を行っています。

食事療法は、病気を治療する上で大切な治療法の一つです。医師の指示に基づいて、管理栄養士が患者さんの症状に合わせ、食事をどうしたら良いのか、分かりやすくご説明します。栄養指導をご希望の患者さんは、予約制のため主治医または看護師にご相談ください。

(栄養室 管理栄養士：矢野 香代子)

